

## mission 6

### 「パワーローン」の使い方を研究せよ

ポルシェの新しい買い方として近年注目されている

残価据置型ローンプログラムの“パワーローン”。

もともと新車に用意されていたシステムだが、

現在では対象が認定中古車にも拡大されており、

その利用率は急上昇している。

ご存知の通り、ポルシェのパワーローンとは、車両購入時にあらかじめ据置き金額を設定して最終回まで残り、その金額を差し引いた分を毎月返済していく支払い方法だ。その上手な利用法について研究する、というのがここでのミッションなのだが、なにかとデリケートなテーマなので、潔くプロの指導を仰ぐことにした。指南役はポルシェ認定中古車正規販売店「ポルシェセンター浜田山 認定中古車センター」の近藤敏彦さんである。

「パワーローンの適用は、ポルシェ認定中古車の中でも基本的に“新車登録から5年以内の車両”に限られていますが、この対象年式を超えても利用できるケースがあることを、上手な使い方として紹介したいですね」

GT3や911ターボは、初度登録から5年を超えても高値を維持している。こうしたモデルでは、パワーローンを運用している「ポルシェ ファイナンスサービス ジャパン」とポルシェセンター

の担当者が直接交渉することで、同ローンの適用も不可能ではないのだそう。

「ケース・バイ・ケースの対応で、当然のことながら審査をクリアする必要がありますが、今年3月に大阪で開催された認定中古車合同フェアでは、新車登録から6年以上経過している車両でも実際に適用できました」

さて、同ローンの期間は3年(36回)／4年(48回)／5年(60回)が選べ、最終回の支払い額(残価)は、3年で販売価格の約40%、4年で約30%、5年で約20%にそれぞれ設定されているのだが……。

「この残価を数%高めてパワーローンを組むという方法も上手な使い方です。通常の車両使用パターン(年間1万km程度の走行距離)であれば、ポルシェの場合、実際の査定価格は基準の設定残価を大きく超えます。これについても個別対応という形で、残価を無理のない範囲で基準より高く設定して月々の負担額を軽減すること

が可能です」

また、納車時のボディコーティング費用や各種オプション装備の費用を全部組み込んでしまうのも賢い使い方だ。

「リトロニックやホイールなどのテクニッブメントはもちろんのこと、ポルシェ ジャパン推奨ナビゲーションシステムとETCを、ポルシェセンターの手で装着(車両に精通したメカニックがダッシュパネルを外して作業するので、高いフィッティングレベルを誇る)して、その費用をローンに盛り込む方法もあります」

いずれの場合もローンという性格上、審査が必要となるが、それをパスできればかなり柔軟に対応してもらえることができるようだ。それでは続いて、同拠点のストックにて作成したシミュレーション例を紹介していくことにしよう。

取材協力:ポルシェセンター浜田山 認定中古車センター Tel.03-3313-0986

Text:佐藤貴昭/Photo:丸山博人

## 2003 911Carrera4S



キャララホワイトの外装色を纏う希少なカレラ4S。2003年式のティプトロニック仕様で、走行距離は1.7万kmである。ボーズのサウンドシステムと件のナビゲーションシステム+ETCが装着されている。頭金を200万円入れると、ボーナス払いなしの均等払いでも、月々の家賃並みの予算で狙うことができるのだ。

PORSCHE	
車両価格(税込)	975万円
登録諸費用	27万5,580円
ローン回数	48回
実質年率	3.9%
頭金	200万円
初回支払額	12万6,406円
月々支払額	12万5,400円
ボーナス月加算額	0円
据置額(最終回支払額)	301万205円
※実質年率は店舗/時期により異なる場合があります。	

## 2005 CayenneS



フェイスリフト版が発表されても安定した人気を誇るカイエンS。バサルトブラックメタリックの外装色にハバナ・サンドベージュと呼ばれる内装色を組み合わせた走行距離6,500kmの車両だ。新車と異なり、認定中古車にはリースの設定がなく、月々の支払いを経費として計上できる法人オーナーは、このような全額ローンを希望するケースも珍しくないそうだ。

PORSCHE	
車両価格(税込)	897万9,999円
登録諸費用	33万4,570円
ローン回数	60回
実質年率	3.9%
頭金	0万円
初回支払額	14万5,432円
月々支払額	14万5,300円
ボーナス月加算額	0円
据置額(最終回支払額)	186万4,713円
※実質年率は店舗/時期により異なる場合があります。	